

大阪市立大学の『大学支援体制』について

全学同窓会と教育後援会は大学の要請で大学支援団体として設立

大阪市立大学同窓会 (全学同窓会)

(平成24年11月3日設立)

＜参画メンバー＞卒業生中心

・大学、在学生支援が第一の目的



(各学部同窓会)

- ・有恒会 (商・経・法・文・創)
- ・理学部同窓会
- ・工学部同窓会
- ・医学部同窓会
- ・生活科学部同窓会
- ・看護系同窓会よつば会

※創造都市研究科同窓会は、有恒会に合流

- ・各同窓会は同窓生同士の親睦・交流中心に従来通り自主独立的に活動
- ・全学同窓会の要請を受けて所属の同窓生に働きかけ、大学・在学生支援協力を行う。

大阪市立大学教育後援会

(平成24年12月8日学友会を改組)

＜参画メンバー＞保護者中心

・在学生支援が中心

全学同窓会と教育後援会の役割分担

◆教育後援会

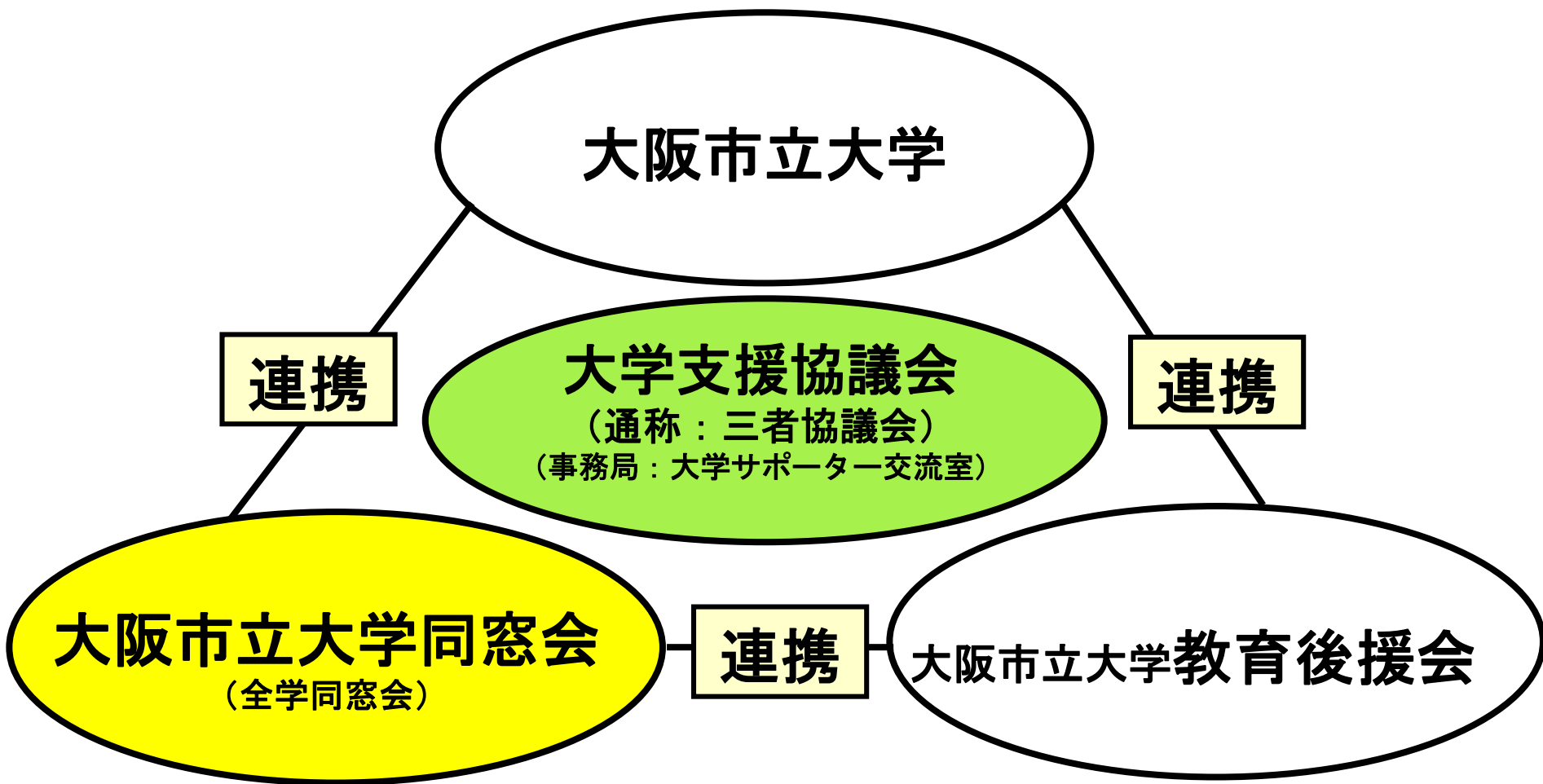
在学生支援の殆どの項目について対応

◆大阪市立大学同窓会 (全学同窓会)

大学・在学生支援活動 (最終的に母校・在学生支援につながる全ての活動)

※在学生支援については教育後援会が対応
困難な支援活動 (卒業生によるボランティア的、人的協力等の支援が必要なもの)

大学支援団体の位置付けと連携関係

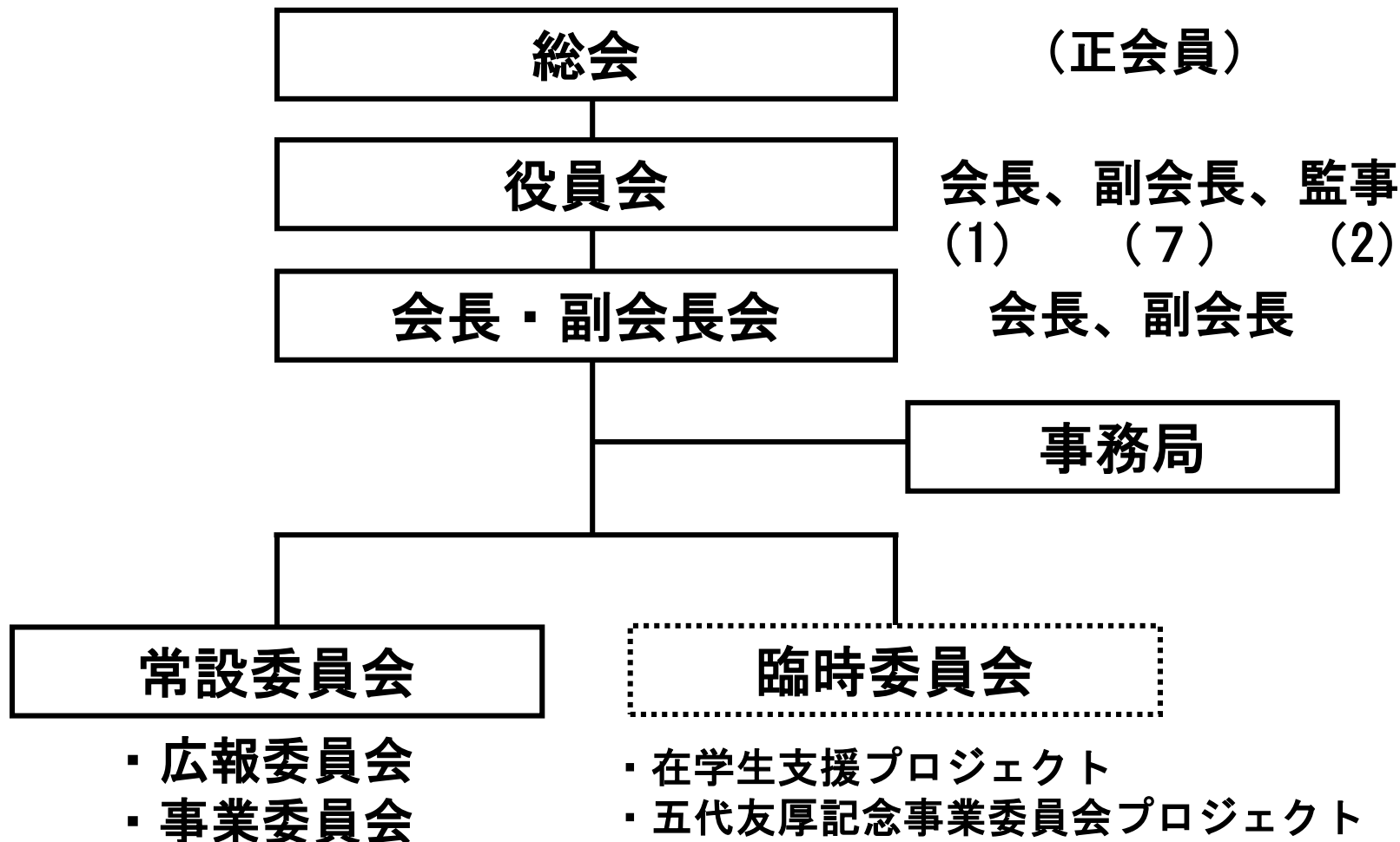


有恒会(商, 経, 法, 文, 創), 理学部同窓会,
工学部同窓会, 医学部同窓会,
生活科学部同窓会, 看護系同窓会よつば会,
※創造都市研究科同窓会は有恒会に合流(2019年6月)

3者は強力に大学・在学生支援を果すため
大学支援協議会(通称、三者協議会)を設立、
相互に連携協力、大学支援の方向づけと推進を行う。

大阪市立大学同窓会 組織体制

2019/09



※副会長は各同窓会から代表1名就任を基本(但し有恒会は2名 計7名)

※実行組織として恒常的事業(広報関係他)については常設委員会を設置、その他はプロジェクトを都度設置し、シンプルな組織に徹して運営する

2019・2020年度 全学同窓会 役員・各委員会等体制

敬称略

全学同窓会役員会 ※任期は2020年11月3日迄

全学同窓会役員	所属同窓会名	所属同窓会役職	役員氏名	卒年
会長	理学部同窓会	顧問	児玉 隆夫	理院昭43
副会長	有恒会	会長	岡本 直之	商昭45
	有恒会	副会長	牧野 忠廣	経昭44
	理学部同窓会	会長	三木 久巳	理博昭55
	工学部同窓会	会長	宇野 勝久	工昭49
	医学部同窓会	会長	生野 弘道	医昭44
	生活科学部同窓会	会長	小西 洋太郎	生昭48
	看護系よつば会	会長	朽木 悦子	看昭51
監事	有恒会	監事	小川 泰彦	商昭53
	工学部同窓会	理事	日野 泰雄	工昭50

常設委員会(事業委員会)

有恒会	副会長	牧野 忠廣	経昭44
有恒会	副会長	宮川 庄一	経昭45
理学部同窓会	会長	三木 久巳	理博昭55
工学部同窓会	理事	前谷 治男	工昭51
医学部同窓会	副会長	武田 温裕	医昭54
生活科学部同窓会	委員	春木 敏	生昭49
看護系よつば会	副会長	玉上 麻美	看院平25

創造都市研究科同窓会は、2019年6月、有恒会に合流

常設委員会(広報委員会)

有恒会	副会長	小林 俊介(リ-ダ-)	法昭44
有恒会	顧問	羽原 顕三	商昭38
有恒会	運営本部委員	植田 浩吉(WEB)	法昭44
有恒会	運営本部委員	村上 芳子	商昭58
理学部同窓会		曾我部 健	理昭45
工学部同窓会	理事	山本 孝	工昭45
工学部同窓会		野田 忠男	工昭45
医学部同窓会	理事	田中 祐尾	医昭44
生活科学部同窓会		谷口美樹子	生昭50
看護系よつば会	広報・情報部	辻野美由紀	看院平22
創造都市研究科同窓会	広報	安藤 根八	創院平30

※広報委員会には、会報部会、WEB部会がある。

◆会報部会 大阪市立大学同窓会報有恒の企画編集

◆WEB部会 全学同窓会HP・メールマガジン運営管理

事務局	事務局長	上村修三(有恒会兼)	商昭53
	事務局次長	渡邊謙二(有恒会兼)	商昭54
	事務職員	亀梨祐司	商昭52
	事務職員	出崎敦史	文昭58
	事務職員	酒井和美(専任)	—

2019.9.1現在

在学生支援事業委員会

有恒会	副会長	宮川 庄一(リ-ダ-)	経昭45
	運営本部委員	植田 浩吉	法昭44
	運営本部委員	北村 吉文	経昭48
	運営本部委員	吉田 稔	商昭50
理学部同窓会	運営本部委員	扇田 豊	法昭50
	会長	三木 久巳	理博昭55
事務局	事務局長	上村 修三	商昭53

五代友厚記念事業委員会

全学同窓会	会長	児玉 隆夫(リ-ダ-)	理院昭43
有恒会	商友会	羽原 顕三	商昭38
	運営本部委員	植田 浩吉	法昭44
	商友会	下崎 千代子	商昭52
	商友会	大西 基勝	商昭52
	商友会	柴田 洋	商昭57
経友会	商友会	柴田 洋	商昭57
	経友会	出原 康雄	経昭42
事務局	事務局長	上村 修三	商昭53

女性部会(WPC)

理学部同窓会		北村佐津木(リ-ダ-)	理昭46
--------	--	-------------	------

全学同窓会 活動概要まとめ

- ◆活動目的: 大学・在学生支援を目的に各学部同窓会(従来通り自主独立に活動)に働きかけ連携し、一体となって活動する。
- ◆運営原資: 在学生保護者が納付の大学支援事業費の一部(名目、教育後援会会費、残は教育後援会使用)を大学・在学生支援に使用し、運営。不足分は各同窓会が分担拠出。(全学同窓会としては「会費」を徴収していない)

活動目的	活動区分	事業区分	活動ポイント	具体的活動内容	卒業生の人的支援ウエイト (ボランティア的、金額表現困難)
大学・ 在学生 支援	在学生支援	在学生支援	卒業生の知識・経験・ノウハウ・ネットワークを活用	(1) 就職支援・進路相談 (2) 国際力強化支援	◎ 支援ウエイト大
			教育後援会が対応困難な在学生支援について対応(卒業生によるボランティア的、人的協力等の支援が必要なもの)	(3) キャリアデザイン支援 (公開講座・大学講座支援) (4) クラブ活動・各種行事支援 OBOGと在学生の相互交流で理解を深め合う	◎ ○
	大学支援	大学支援	夢基金等寄付協力要請中心	(1) 夢基金寄付、ふるさと納税募集協力 寄付要請を全学会報に記載配布、各支部、関係団体に呼びかけ	○
			最終、在学生支援につながる	(2) 産学官連携支援協力	◎
最終的に、全て 母校・在学生へ の支援に つながる 活動を推進	大学支援	広報・PR、 支援・協力 要請活動	情報伝達手段 (会報、HP、メルマガ、直接口頭)を駆使し、 大学への理解を深めてもらい、全卒業生に呼びかけ 母校・在学生支援協力を得る (同窓会名簿の活用<約55,000人>)	(1) 全学同窓会報充実・強化 (2) 全学同窓会HPの充実・強化 (3) 各同窓会名簿データ管理・活用の強化・拡大 ※以上は「重点3テーマ」として検討推進	○
				(4) 各支部総会等へ出席しPR、協力要請 会長・副会長が赴き協力・支援呼びかけ (5) 大学、同窓会への理解・協力誘導 ・大学とホームカミングデー共催 ・在学生との交流拡大(広報配布、银杏祭同窓会ブース設置)	○ ○
	卒業生支援	支部活性化、 卒業生間交流 拡大支援	支部活動活性化、 卒業生間交流支援中心 結果的に最終、大学支援につながる	(1) 全国各支部活性化支援 各支部へ名簿&活性化ノウハウ提供 (2) 新支部、世代別集い創設拡大推進 ・国内27支部→30支部以上へ拡大 ・女性部会展開、若手の会(ビジネス交流会)創設 (3) 卒業生間交流支援(文交C談話室支援)	○ ◎ ○